

### **第 3 章 地域の概況及び地域特性**



### 第3章 地域の概況及び地域特性

#### 3.1 調査対象地域等の設定

対象事業実施区域及びその周辺における自然的社会的状況に関する情報等を収集し、当該地域の地域特性の把握に努めました。

自然的社会的状況に関する情報等の収集は、図3.1-1に示すとおり、対象事業実施区域を中心とした南北約3.9km、東西約3.4kmの区域（以下「調査区域」といいます。）を対象として行うことを基本としました。

統計データの情報収集に関しては、神奈川区、西区、保土ヶ谷区、中区及び南区の合計5区（以下「調査対象地域」といいます。）を対象としました。

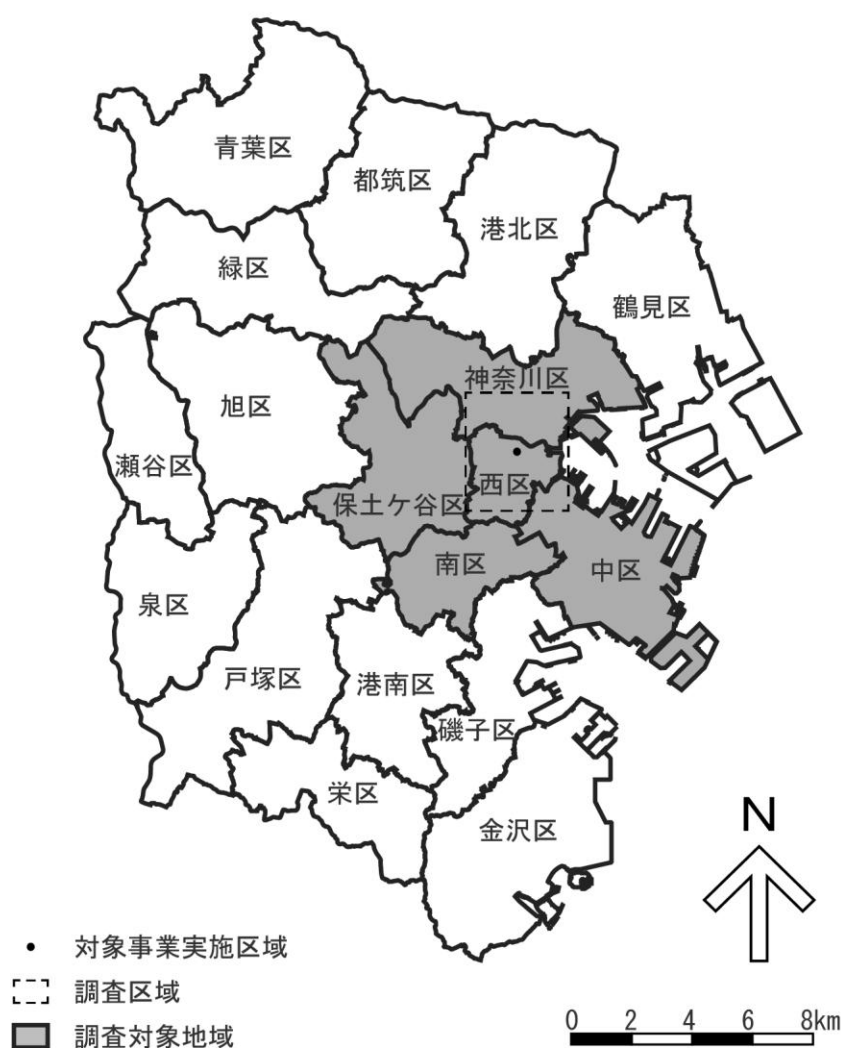


図3.1-1 調査対象地域等の位置

## 3.2 地域の概況

### 3.2.1 気象の状況

横浜地方気象台（横浜市中区山手町、図3.2-2参照）で観測された令和6年の気象状況は表3.2-1に、風配図は図3.2-1に示すとおりです。

令和6年の年平均気温は18.0℃、平均相対湿度は69%、平均風速は3.5m/s、最多風向は北、降水総量は1,819.0mmとなっています。また、風向出現頻度は北が最も高く、次いで、南西となっています。

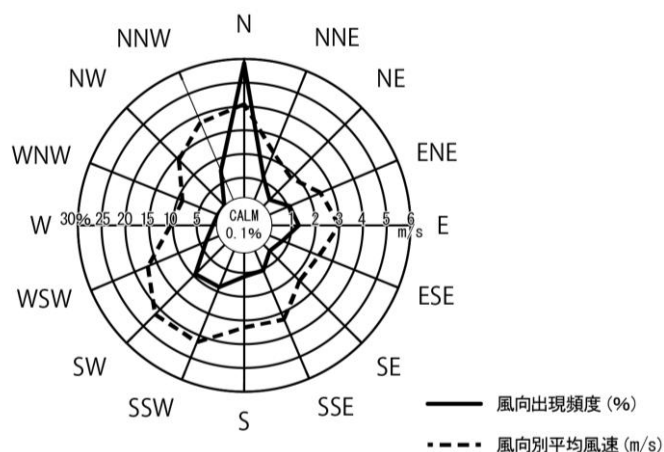
表3.2-1 気象の状況（令和6年：横浜地方気象台）

| 項目                 | 年間      | 1月    | 2月    | 3月    | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   |
|--------------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 平均気温<br>(℃)        | 18.0    | 8.0   | 8.5   | 10.1  | 17.0  | 19.9  | 23.1  | 28.8  | 29.3  | 26.9  | 21.0  | 14.4  | 9.0   |
| 日平均<br>最高気温<br>(℃) | 33.7    | 12.2  | 12.4  | 14.5  | 21.1  | 24.1  | 27.6  | 33.1  | 33.7  | 30.7  | 24.5  | 17.7  | 13.4  |
| 日平均<br>最低気温<br>(℃) | 4.1     | 4.1   | 5.2   | 6.2   | 13.6  | 16.2  | 19.8  | 25.8  | 26.5  | 24.2  | 18.0  | 11.4  | 5.1   |
| 平均<br>相対湿度<br>(%)  | 69      | 52    | 63    | 57    | 73    | 73    | 78    | 77    | 77    | 79    | 78    | 66    | 53    |
| 平均風速<br>(m/s)      | 3.5     | 3.6   | 4.0   | 4.3   | 2.9   | 3.8   | 3.0   | 3.0   | 3.3   | 3.6   | 3.5   | 3.7   | 3.2   |
| 最多風向               | 北)      | 北     | 北)    | 北     | 北     | 南南西   | 南西    | 南西    | 南南東   | 北     | 北     | 北     | 北     |
| 日照時間<br>(h)        | 2,227.3 | 212.3 | 146.3 | 195.6 | 146.4 | 194.5 | 184.9 | 221.9 | 229.9 | 192.7 | 116.7 | 146.4 | 239.7 |
| 日照率<br>(%)         | 50      | 68    | 47    | 53    | 37    | 45    | 43    | 50    | 55    | 52    | 33    | 47    | 79    |
| 降水総量<br>(mm)       | 1,819.0 | 32.5  | 83.5  | 223.0 | 128.5 | 212.5 | 356.0 | 82.0  | 245.0 | 96.5  | 207.5 | 152.0 | 0.0   |

注1) 表中の「)」は観測結果にやや疑問がある、または統計を行う対象資料が許容範囲内で欠けている値です。必要な資料数は、要素または現象、統計方法により若干異なりますが、全体数の80%を基準とします。

注2) 風速計の高さは地上高19.8m（海面上39m）です。

資料：「横浜市統計書[web版]」（令和7年7月調べ、横浜市政策経営局ホームページ）



注) 風速 0.2m/s 以下を静穏としています。

資料：「過去の気象データ検索」（令和7年7月調べ、気象庁ホームページ）

図3.2-1 風配図（令和6年：横浜地方気象台）



この地図は国土地理院ウェブサイト(令和6年8月時点、電子地形図(タイル)標準地図)を使用して作成したものです。

#### 凡 例

- 対象事業実施区域
- 区界
- 横浜地方気象台



$S = 1/20,000$

0 200 400 600m

図3.2-2 横浜地方気象台の位置

### 3.2.2 地形、地質、地盤の状況

#### (1) 地形

調査区域の地形の状況は図3.2-3に、横浜港沿岸部の埋立の変遷は図3.2-4に示すとおりです。

対象事業実施区域及びその周辺は、1859～1889年の幕末から明治中期にかけて埋立てられた土地となっており、地形は旧水部に分類されます。また、対象事業実施区域東側約100mには三角州・海岸低地が分布しています。

#### (2) 地質

調査区域の表層地質の状況は、図3.2-5に示すとおりです。

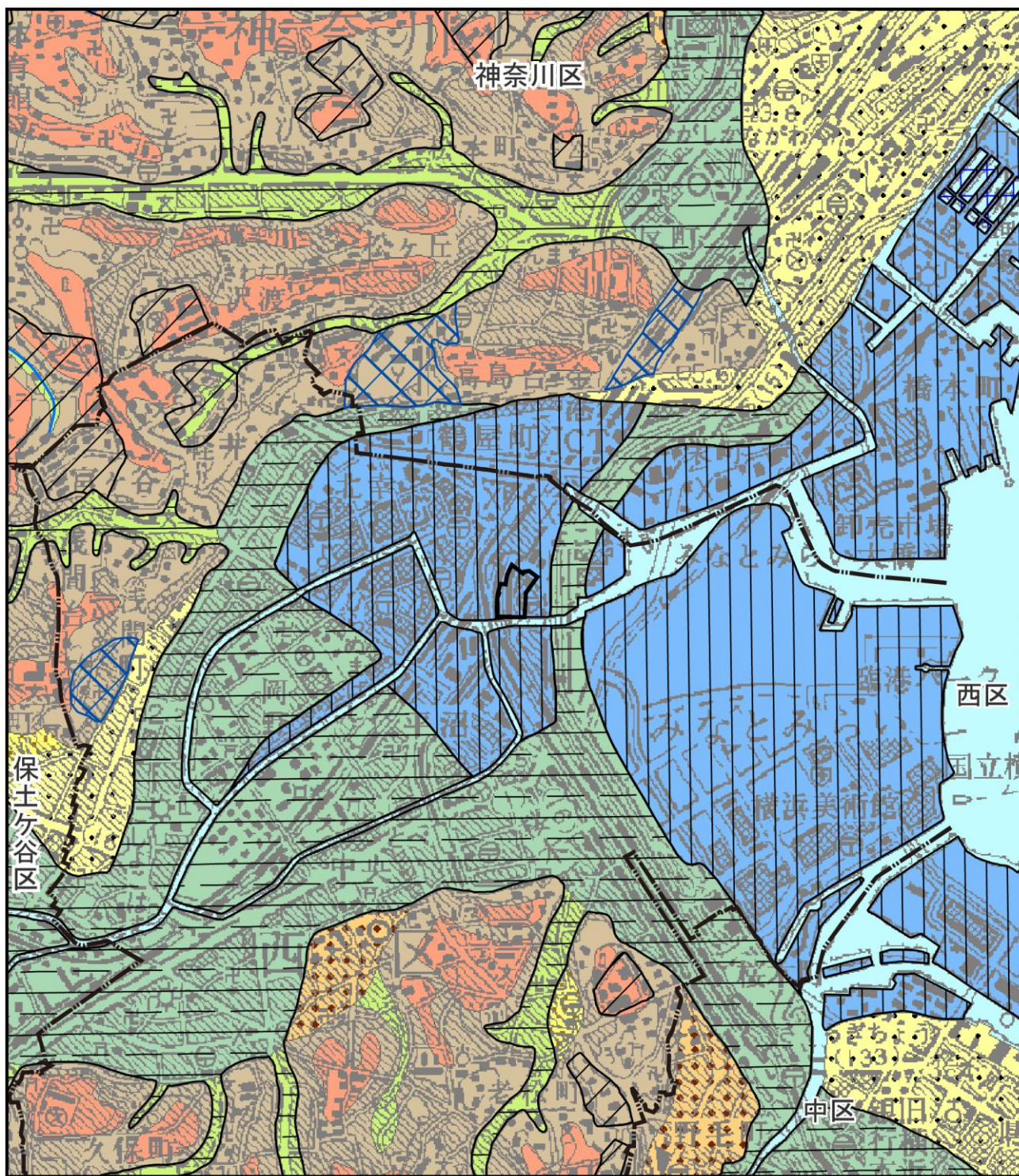
対象事業実施区域及びその周辺の地質は埋土となっており、対象事業実施区域北側約400mには自然堤防及び砂洲堆積物が分布しています。

#### (3) 地盤・土壌

調査区域の土壌の状況は図3.2-6に、軟弱地盤の分布状況は図3.2-7に示すとおりです。

対象事業実施区域及びその周辺は人工改変底地土(市街地)に分類されます。また、対象事業実施区域の軟弱地盤の層厚は主に30～40mで、軟弱地盤の厚い地域となっています。

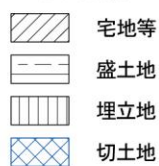




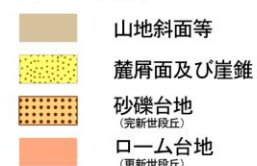
### 凡 例

対象事業実施区域 区界

#### 人工地形分類



#### 自然地形分類



旧水部

資料：「国土調査（土地分類調査・水調査）土地履歴、自然地形分類、横浜、平成22年度調査」（令和7年7月調べ、国土交通省ホームページ）

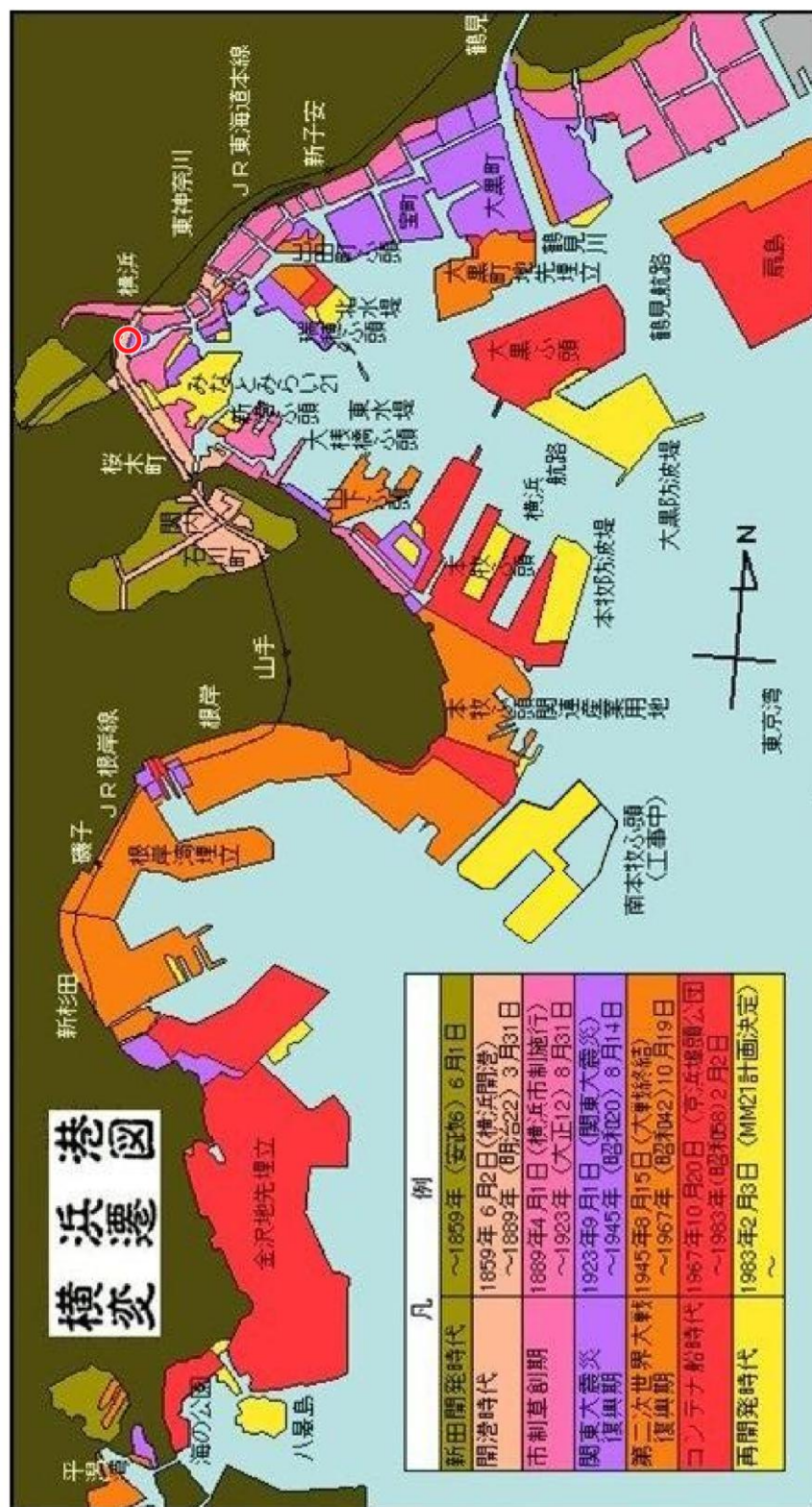


S = 1/20,000

0 200 400 600m

図3.2-3 地形分類図



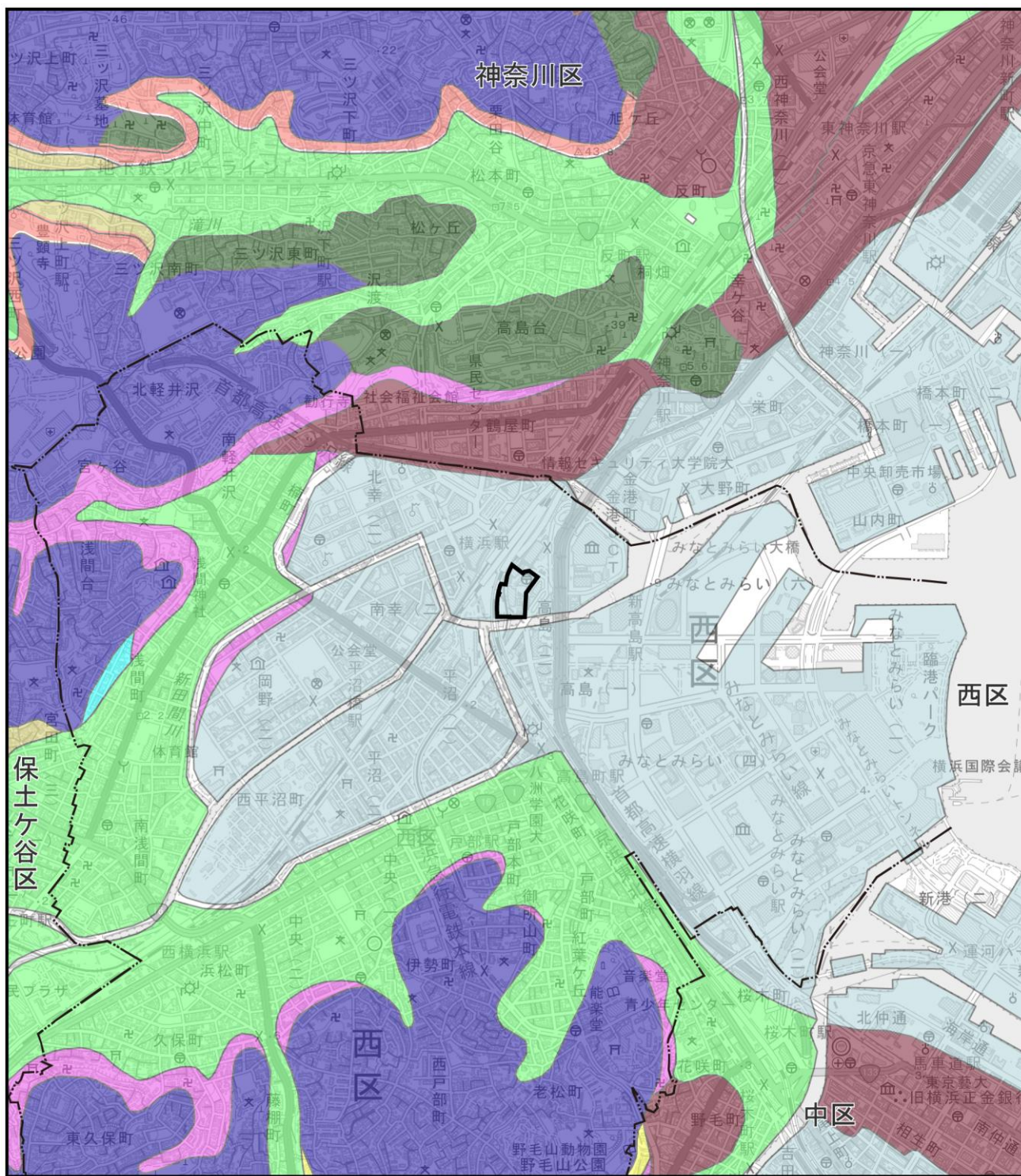


○ : 対象事業実施区域

資料：「横浜港変遷図」（令和7年7月調べ、横浜市港湾局ホームページ）

図3.2-4 対象事業実施区域及びその周辺（横浜港沿岸部）の埋立の変遷





この地図は国土地理院ウェブサイト(令和6年8月時点、電子地形図(タイル)標準地図)を使用して作成したものです。

### 凡 例

対象事業実施区域

区界

低湿地堆積物

自然堤防及び砂洲堆積物

武蔵野ローム・武蔵野礫層

立川ローム層・立川礫層

相模層群 早田ローム層・鶴見層  
・舞岡ローム層・舞岡層

相模層群 土橋・土屋ローム層  
・戸塚層・寺尾層

相模原群 平戸ローム層・屏風ヶ浦層

相模原群 下末吉ローム層・下末吉層

上総層群 上墨川層

埋土

資料：「国土調査(土地分類調査・水調査)5万分の1土地分類基本調査、土壤図、横浜、東京西南部」  
(令和7年7月調べ、国土交通省ホームページ)

N

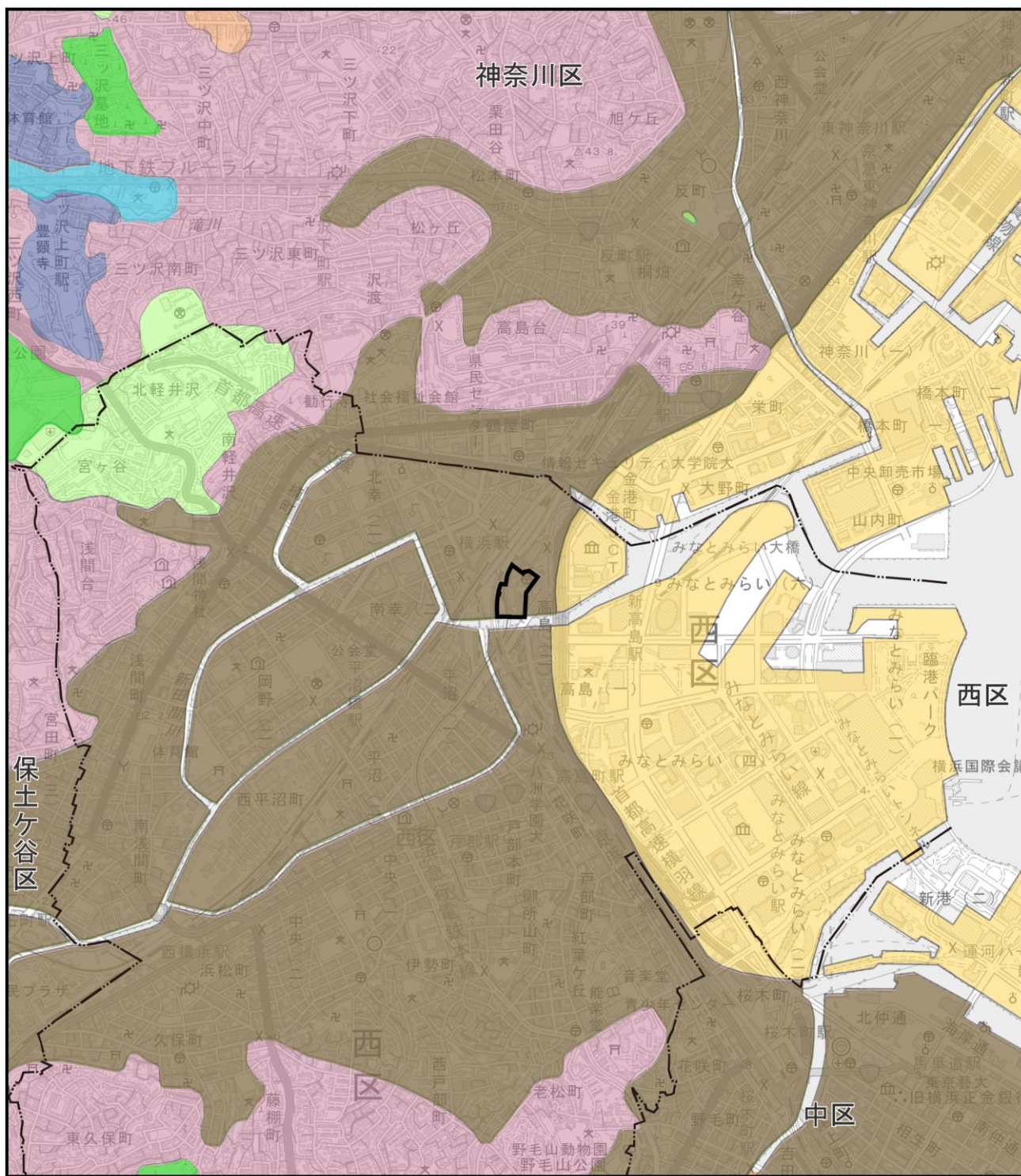


S=1/20,000

0 200 400 600m

図3.2-5 表層地質図





この地図は国土地理院ウェブサイト(令和6年8月時点、電子地形図(タイル)標準地図)を使用して作成したものです。

#### 凡 例

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 対象事業実施区域     | 人工改変低地土（その他） |
| 区界           | 表層多腐植質黒ボク土   |
| 人工改変低地土（元水田） | 厚層多腐植質黒ボク土   |
| 人工改変低地土（市街地） | 大規模造成地       |
| 人工改変低地土（公園等） | 埋立地          |

資料：「国土調査（土地分類調査・水調査）5万分の1土地分類基本調査、土壌図、横浜、東京西南部」（令和7年7月調べ、国土交通省ホームページ）

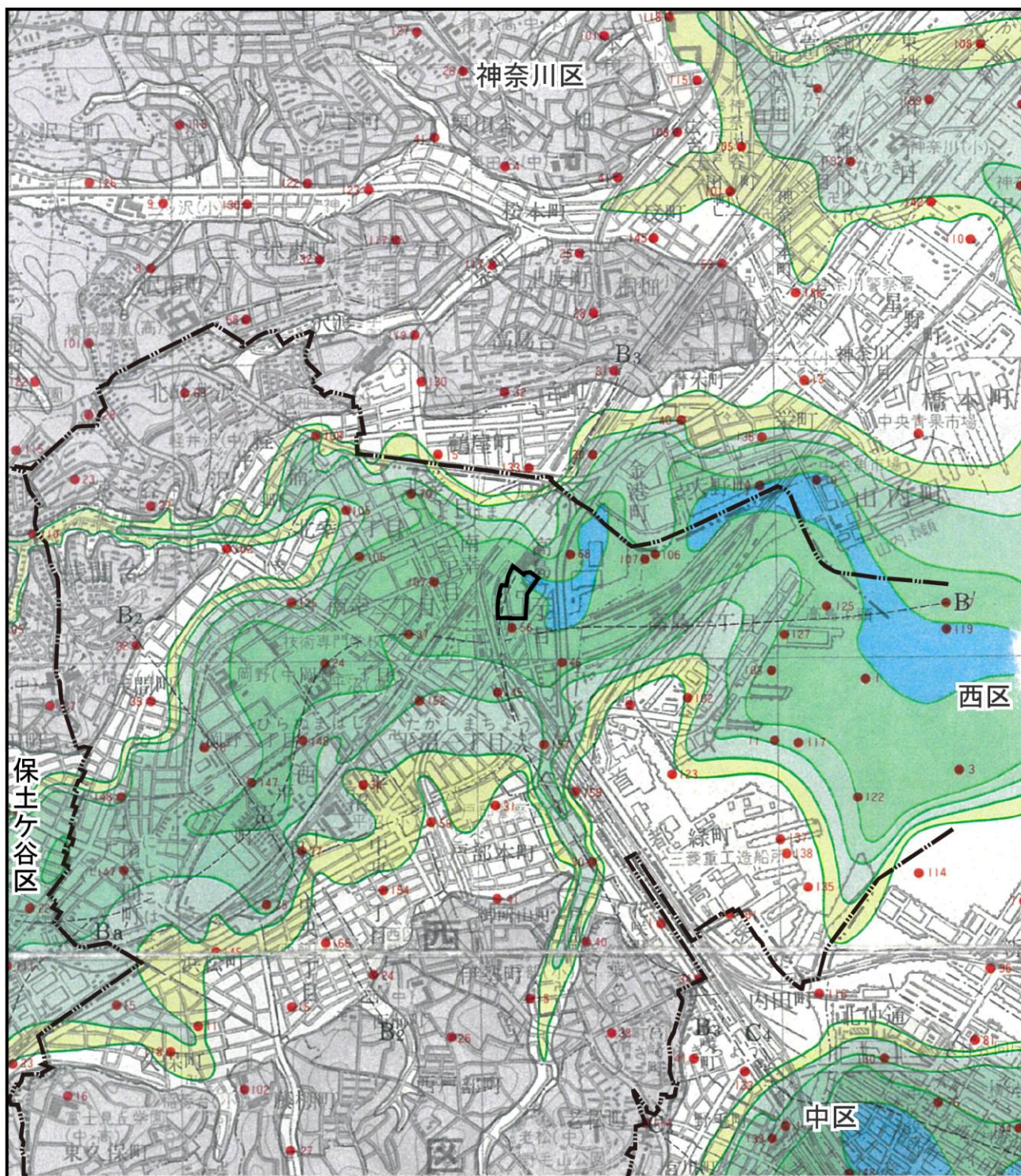


S = 1 / 20,000

0 200 400 600m

図3.2-6 土壌図





凡 例



対象事業実施区域

区界

(軟弱地盤の層厚)

0~5m

5~10m

10~20m

20~30m

30~40m

40~50m

丘陵地及び台地面

資料：「横浜市地盤図集」（平成8年3月、横浜市）

N



S = 1/20,000

0 200 400 600m

図3.2-7 軟弱地盤図



### 3.2.3 水循環の状況

調査区域における主な河川の状況は、表3.2-2及び図3.2-8に示すとおりです。

対象事業実施区域南側には近接して二級河川の帷子川が流れています。また、対象事業実施区域西側には二級河川の新田間川、南西側には石崎川が流れており、北西側から東側にかけては、二級河川の帷子川分水路が流れています。

表3.2-2 河川の状況

| 河川区分 | 水系名 | 河川名      | 延長（m）  |
|------|-----|----------|--------|
| 二級河川 | 帷子川 | 帷子川      | 17,340 |
|      |     | 新田間川     | 2,200  |
|      |     | 石崎川      | 1,600  |
|      |     | 今井川      | 5,590  |
|      |     | 帷子川分水路   | 6,610  |
|      | 大岡川 | 大岡川      | 10,540 |
| 準用河川 | 滝の川 | 滝の川      | 1,160  |
|      | 入江川 | 入江川第二派川  | 2,400  |
|      |     | 入江川小派常盤川 | 620    |

資料：「横浜市を流れる河川一覧」（令和7年7月調べ、横浜市下水道河川局ホームページ）



图3.2-8 河川图